曲亭馬琴著

傾城水滸傳第三編

歌川國安画

下帙卷之上

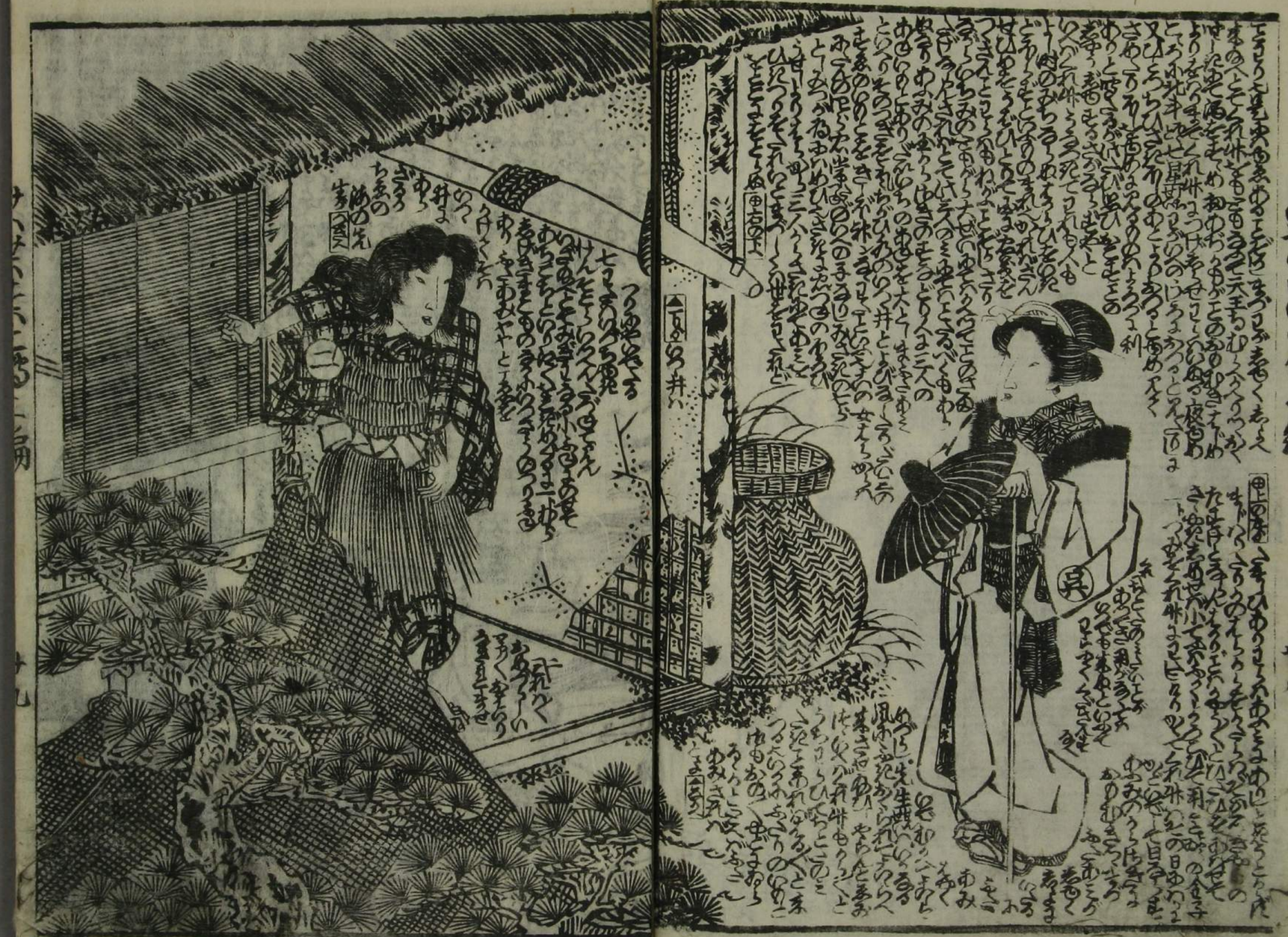
特へ13
1964
11

藤の糸ちぐひ水よ
水る夜よめ〻く
とよべ原烟酒
第一弓出像補遺
馬琴作
三世姫
畫鼠の
白粉

稲

婦人讀書指南
二七講書女孝経
具竹僑居

蝶
鳥
稲



瀧澤篁民著

迎福南鍼録

一名 相宅手引草

全部五冊　近刻

右同著

雅俗百傳一奇

大本 全五冊繪入

平假名附　近刻

右二書共遠く出板仕い　浅草通油町書林　仙鶴堂小林喜右衛門印行

近来選擇相宅の書年々出月々行れて五車に盈て牛に汗する至れり然ども其の法祓祝の為の懸と者を解ぜざるこれ多し抑この書は協紀辨方書を本つゝ方位宅相神祭走避の要領を略して吉に就き凶を避禍を禳て福を求るを主とし其の学ま疎くして鼓琴不辨のうれたきも解難く行易き大凡一家の主人たるの常に坐右に措て吉凶悔吝の惑なき様に日用有益の良籍なり

この書は雅とする俗とする奇の行状を一奇ある古人の列傳を輯録して勸懲の一端とし忠孝義烈尚武節操の世を捉れるより隠逸名聞人藝好事のたぐひまで得るに随て漏さゞる事并善を見て人の進んを欲し不善を聞て己を整言人を整言んその所為の巻中毎に出像あり一巻を繙くに従て覧まして巻を重る異聞瑰奇の珍書なり